

スロバキアのワイン祭



常任理事 稲田 隆司

10年前、スロバキアのワイン祭に参加した。仕事で沖縄をよく訪れるスロバキア人の方の案内があった。ドバイ経由でウィーン着、車で40分程走るとスロバキアの首都ブラティスラバに入る。ドナウ河が側を流れるケンピンスキーホテルに宿泊。祭の正式名称は「カルパチア山脈、ワインの道祭」という。

私が参加した2013年は、161軒のワイナリーが出店、チケット代は日本円で約5千円、3万人限定、1週間で売り切れるという。カルパチア山脈の60キロに渡る麓の村々のワイナリーを地図片手に廻る。ワイナリーが紹介されたぶ厚い冊子をめくりつつ、首からはチケット代わりに支給されたオレンジ色の袋をぶら下げ、2013年、ワイン祭と記されたワイングラスを入れ、目印のマークを着ける。訪れる先々で、同じ姿の人々に会おうと連帯感がわく。皆ホロ酔いで上気し、ニコニコしている。私も言葉はわからぬが東洋の謎の微笑で通した。ガブ呑みを避け、水で口やグラスを洗い、ある時はパンを食べ舌を整え試飲し、気に入れば購入する。いくつか紹介しよう。中世の保管所を思わせる地下室でローソクに照らされながら布に描かれた聖ジョージの肖像があった。手にはブドウの房と杖を持っている。ワインを護り続けている。そのワインはイワン・ルスカといい、素朴だが力強い。アリベルネットというカベルネとメルローを交配したブドウを使う。この品種はウクライナで生まれスロバキアで広がった。スモレニーチェ村のお城にはハチミツのワインもあった。世界大会で優勝し甘く純な味がする。スバティユール村の「ワインの虫」というワイナリーのテスラの赤は絶品であった。豊潤。エチケットの数行も良い。

ワインは神様の贈り物
みんなを喜ばせる為に

スロバキア固有のハロンというブドウで造られたペガス（ペガサス）というワインが紹介されていた。そこで皆が楽しそうに合唱している。

生きている間はワインを呑もう
ワインを呑むぞ

お前は水を呑むな
水は体に悪い
ワインを呑め

彼女と会いたかったが
雨が降って会えなかった

私はこのワイン祭の事を、沖縄エッセイスト・クラブ合同エッセイ31集「サバニ」に寄稿した。その際、あえて省略したエピソードがあった。デリケートで政治が絡むからだ。ある村で白ワインを呑ませてくれると納屋に案内された。農機具などが置かれ、小さく白ワインが製造されていたが、納屋の奥、片隅に白い彫像が無造作に置かれていた。問うとレーニンだとそっけない。嫌な事を忘れない為に置いているのだという。少々戸惑った。私も若い頃、多少レーニンを読み、時代を切り抜いた先人という印象があった。しかし、スロバキアの民からすれば大國の弾圧の象徴であったかもしれない。スロバキアは、チェコスロバキア共和国から1993年に独立を果たした。スロバキアの民の原点に美しい物語がある。

大洪水の記憶もはるか遠くに消えかかった頃、人口が増え、一国で収まらなくなり、神は人間に世界各地に移り住むよう命じた。その時、神はそれぞれの民族に独自の言語と特別な宝物を与えることにした。

神から、どんな宝物が欲しいかと尋ねられて、最初に来た民族は、ミルクと蜂蜜がいっぱいの豊かな土地を求めた。次に来た民族は、世界を支配できるような強さと力を求めた。三番目に来た民族は、世界中から称えられるような栄誉を求めた。こうして次々に来る諸民族に、神は贈物を全部ふるまった。そして最後にやってきたのはスロヴァキア人だった。彼らは恭しく神の前に歩み寄ったが、それまでに来た諸民族と比べて、最も人数が少なかった。神は彼らに、なぜ一番遅く来たのかと問うた。神様、私たちは小さな民族なので、大きな民族に押しのけられ、前に出られませんでした。と彼らは答えた。次に、神は彼らに、何を所望するかと尋ねた。私たちが望むものはただ一つです。それはあなたの愛です。と彼らが答えると、神はよろしい、それでは汝らには愛を与え、汝らを永遠に愛するとうとうと語った。一中略— 今、汝らにこの

世で最も美しい言葉、スロヴァキア語を授けよう。一中略— 汝らにこの美しい歌を与えよう。この歌を女たちが歌うとき、鳥はさえずりをやめ、小川はきらめき、丘は踊り、汝らの国は天国に変わるであろうと 一中略— 汝らには我がついていると。(『スロバキア熱』 石川晃弘 海象社)

全ての民族は美しく、伝統を有し、人々は日々の暮らし、平和を希求している。カルパチア山脈の麓の村々を廻り、はるかかなたに広大な大地が広がっていた。ウクライナだと地元の人がいう。どこか親し気であった。

ロシアもナチスの侵略に抗し、レニングラード包囲戦を誇りを持って守り抜いた。ショスタコーヴィッチの交響曲をめぐる物語には胸を打たれる。

それゆえに悲しむ。

他国への侵略を止めよ。

民族、人々を尊重せよ。

民族、人々を尊重せよ。

戦争を止めよ。

お知らせ

感染症情報

所管課よりお知らせ

※ 新型コロナウイルス感染症関連の対応の為、当分の間週報の還元を休止させていただきます。申し訳ございませんが、ご了承の程よろしくお願い致します。

なお、沖縄県感染症情報センターでも沖縄県の感染症情報を更新しておりますのでご確認下さいませよう、宜しくお願い致します。

【 <https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/home.html> 】

